

ワーキング ヴォイス

NO. 21 2010年 11月15日

長らく不況により我が国の雇用情勢の悪化が続く中、派遣社員や契約社員、フリーターなどを続けざるを得ない非正規労働者の比率が高止まる傾向にあります。その結果、不安定な雇用形態のため年収の上昇やスキルアップなどの機会に恵まれず、社会的・経済的自立が困難な「ワーキングプア」となるケースが広がり、大きな社会問題となっています。

県内では今年9月にキャリアアップセンター愛媛が開設され、正規労働を目指す求職者・非正規労働者の就労支援を行なっていることから、支援概要や相談者の利用状況などをお伺いしました。後半では(社)愛媛県労働者福祉協議会内に開設しているジョブえひめ就労支援センター(無料職業紹介所)での支援概要と相談者から受け付けている相談事例やその解決方法などをご紹介します。

ハローワークプラザ松山の山口所長と豊田統括職業指導官に県内の非正規労働の求人求職状況や今年の9月に新たに開設されたキャリアアップセンター愛媛(非正規労働者総合支援センター)の概要などをお伺いしました。

Q1、キャリアアップセンター愛媛の具体的な就労支援の主な概要を教えてください。

非正規労働をされていた方が正規労働や安定した雇用を目指されることに特化した支援窓口で、以前にあったキャリアアップコーナーの機能を拡大、充実させて本年9月に開設いたしました。特徴的な支援業務は、相談担当者制によるマンツーマンの正規就労支援プログラムの実施です。予約制で担当者から様々なアドバイスなどを受けて3ヶ月間で正規社員としての就労を目指すものです。もう一つは個別求人開拓と就職後の職場定着指導です。求職者のニーズに合った求人が無かった場合には、センター独自で求人開拓を行ないます。また、就職後の仕事上の悩みや相談を受け付け、正規社員として長く定着して仕事が続けられるような支援も行なっています。まだ計画段階ですが、今後は履歴書・職務経歴書の正しい書き方や様々な業種・職種を詳しく学べるセミナーの開催なども幅広い内容で実施していく予定です。



Q2、直近の非正規社員関連の求人求職状況を教えてください。

実際に県内に非正規労働者がどの程度いるのか正確な実数を把握するのは難しく、総務省の労働力調査や国勢調査の統計データが参考になるかと思えます。県内のハローワークが独自に行った任意の聞き取り調査では、本年9月期の非正規労働者の雇止め等の状況は8月期と同数となっており、雇止め等が増えている状況はないと思います。正社員の県内有効求人倍率は9月期では0.38倍で、ここ半年ではわずかながら上昇傾向が継続しています。しかし、もともと正社員求人が少ない中で正規社員を希望する求職者が多いので非常に厳しい状況となっています。長く非正規労働を続ける弊害としては経済的な問題だけでなく、奥行きのある業務を与えられないケースが多いので、スキルや経験値の向上が難しい為に就職活動でご苦労される方も多いのではないかと考えています。

Q3、正規社員を目指す求職者の利用状況や主な相談内容を教えてください。

当センターが開設された本年9月期の利用状況は相談件数が約680件、会社紹介が約230件、就職者数が約50名、正規就労支援プログラムを受けている方は約70名です。7名の専任スタッフで対応していますが、9月期ではスタッフ1名あたり月間、100件前後の相談を受け付けましたので、多くの方にご利用いただいているのではないかと感じています。正規就労支援プログラムとしての相談を開始した方の約80%の方が、非正規労働として再就職したケースも含まれますが、何らかの仕事に就労されました。就職活動とは地道なものですから一人で悩み苦しんでいる求職者の方も多いと思います。また、一人での就職活動では限られた情報量にもなるかと思えます。例えば求職者のスキルアップの課題や今までのキャリアの棚卸しなどは相談員と一緒に考え、アドバイスを受けることにより、就職への道筋が良い方向に向かっていくのではないかと考えています。非正規労働者就労支援対策は国の重要政策ですので、職業訓練や基金訓練の制度を活用して新たな知識を学ぶことによりスキルアップを果たしながら就職活動に臨む方法もご提案しています。

また、生活支援に関しましては情報提供のみになりますが実施しており、生活支援実施窓口であるハローワー

クや各自治体などへのご案内を行っています。

Q 4、特徴的な支援の一つである臨床心理士の無料相談ではどのような相談ができますか。

祝日を除く、毎月第1・2・3・4木曜日の14時から16時に無料で実施しております。正規労働に向けた就職活動の過程においては、どうしても上手くいかなくて苦しまれたり落ち込むケースも多々あると思います。臨床心理士資格を持った専門員が「心のコンサルティング」を行うことにより、少しでも気持ちが前向きになり、意欲的な就職活動に繋がればと考えています。出来るだけ多くの方にご利用して頂きたいので1回につき1時間以内で、同じ内容での相談に関しては3回までとさせていただきます。

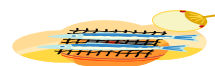


Q 5、正規社員を目指すための具体的な方策を教えてください。

様々なアプローチがあると思いますが、一般論としては求職者が正規社員の採用を考えている企業側のニーズに合い、貢献できる人材と成り得るかだと思います。また、質の高い就職活動を行う必要があります。求人情報の収集は非常に大事で、ハローワークなどの求人情報を十分に把握して、希望する企業を受ける際には志望動機や履歴書、職務経歴書、面接での自己アピールが大変重要になります。厳しい競争となりますが、正規社員への強い意欲を伝えなければなりませんので、それらの就職活動のノウハウを学ぶ必要があります。仕事の内容や雇用形態により違いはありますが、法律上、原則的には企業側は採用時に年齢・性別が問えないので、ご自身の適性や能力を最大限に発揮して積極的に挑戦する気持ちをお持ちになって頂きたいです。また、求職者自身も志望する業種や職種の範囲を広げ、正規社員の採用意欲の高い医療・介護やIT系などの仕事を就職の選択枠に組み込んでみるのも方法の一つだと思います。

Q 6、正規社員を目指す求職者や非正規労働者の方々にセンター利用への助言をお願いします。

職業安定所の業務の一つは求職者の方が安定した職業に就き、生活を安定・充実させるためのお手伝いをする事です。非正規労働をされていた方にとっても就職活動が厳しい状況ですので、四国初のキャリアアップセンターが開設されました。厳しい労働市場の中で正社員になりたいと思いつつながら非正規労働を続けられた求職者は、就職活動においてもいろいろな苦労や悩みをお持ちになっていることを私たちも理解しています。就職活動に関して悩みや相談などがあれば、一人で抱え込まずに是非ともセンターに相談に来ていただいて、希望する正規労働に就職するための方策と一緒に考えていければと思います。また、相談者ごとに様々な悩みや相談内容に相違があると思いますが、きめ細かな支援ができる体制を整えております。担当者一同、これから雇用を目指しておられる方へのサポートを的確かつ全力で行ないますので、お気軽にご利用して頂ければと思います。



<キャリアアップセンター愛媛の主な支援内容>

- 予約担任者制でマンツーマンによる短期集中型の就職支援（「正規就労支援プログラム」を実施）
- 自己分析、適職、求人選択などのアドバイス
- ニーズに合った求人情報の提供、職業相談、職業紹介
- 応募書類（履歴書・職務経歴書など）の作成支援
- 模擬面接による面接対策
- 就職支援セミナーの開催
- 職業訓練に関する情報提供や受講支援
- 各種就職情報の提供
- 個別の求人開拓
- 就職後もフォローを継続
- 自治体等が実施している各種生活支援策に関する情報提供
- 不安や就労をめぐる悩み等について専門家（臨床心理士）による相談

正社員に向けて
徹底サポート！



<概要>

名称：キャリアアップセンター愛媛（非正規労働者総合支援センター）

場所：〒790-0012 松山市湊町3丁目4番地6 銀天街GET!4階 ハローワークプラザ松山内

連絡先：電話：089-913-7404 FAX 089-913-7418

ご利用時間：平日 8:30～19:00 土曜日 10:00～17:00 日曜日、祝日、年末年始は休みです。

(社)愛媛県労働者福祉協議会内に開設されているジョブえひめ就労支援センター(無料職業紹介所)の西川相談員よりセンターの就労支援概要と相談者から受け付けている相談事例や解決方法などをご紹介します。

Q 1、ジョブえひめ就労支援センターの主な支援概要を教えてください。

今年の3月1日に(社)愛媛県労働者福祉協議会に開設されている「愛媛くらしの相談センター」に併設する形で厚生労働大臣許可の無料職業紹介所として業務を開始しましたが、主な業務内容は就労支援です。不況で就労を希望する方が職を得て働くことが難しい時代の中で求職者それぞれの生き方や働き方を一緒になって考え、少しでも早く再就職ができるための支援を行っております。また転職を希望している方からの就労支援も行っております。



求職者への就労支援に関してはどうしても就職活動に重きを置きがちですが、生活支援も重要だと考えています。住居や日々の生活が整ってなければ就職活動に支障をきたすからです。生活に困窮している相談者には国や自治体などが実施している生活資金融資制度をご説明します。ジョブえひめ就労支援センターでは(社)愛媛県労働者福祉協議会内に開設している「愛媛くらしの相談センター」とも連携し、総合的な就労支援を実施しておりますので就職活動や生活に関する悩みのご相談を幅広く受け付けることが出来る就労支援窓口だと思います。

Q 2、特徴的な就労支援があれば教えてください。



ハローワークなどにも同じような就労支援窓口はございますが、ジョブえひめ就労支援センターでは相談者からの就労に関するご相談や悩みなどを時間をかけて何回でも継続的に伺うことが出来るのが特徴です。不況ですから競争の厳しい就職活動を勝ち抜くためには様々な手法が必要となります。よって短時間、短期間での就労支援では相談者のニーズに親身かつ的確に答えることができませんのできめ細やかな就労支援やアドバイスを心がけています。具体的には履歴書や職務経歴書の書き方ですが、企業の採用担当者の目に留まる内容となるように、これまでの職務経歴の棚卸しや企業側に熱意が伝わる志望動機を一緒になって考えて作成もします。

また、新たな試みとしてより多くの求職者に当センターの存在と就労支援概要を知って頂き、就職活動の有効なノウハウや労働市場を学んで頂く事を目的に、月1回のペースで11月から3月の間に合計5回、各回定員20名の事前予約制で中高年求職者を対象に就労支援セミナーを開催します。県内には概ね40歳以下の若年求職者向けには松山市の銀天街に開設されている愛Work(愛媛県若年者就職支援センター)などの支援窓口がありますが中高年向けの就労支援窓口は少なく、早期就職に向けた就労セミナーなどもあまりなかったため企画しました。現実問題として中高年求職者の方が不況による厳しい労働市場においては就職が困難である状況だと思います。就労セミナーを通じて有効な就職活動を行うためのノウハウを学んで頂き、ジョブえひめ就労支援センターの就労窓口にお越し頂き、助言や指導を受けることにより一日でも早い再就職が可能になればと思いますのでお気軽にご参加下さい。

Q 3、相談者から多く寄せられる相談事例と解決方法を教えてください。

特徴としましては中高年求職者からの相談が多いことだと思います。不況による企業側のリストラなどで退職せざるを得なかった中高年の方も再就職に向けて就職活動を行うわけですが、なかなか上手くいかない現状をご相談に来られる方が多い状況です。この方たちは日本経済がまだ景気が好調だった時代に就職をされて何十年ぶりに就職活動を行うのですが、昔ながらの手法を用いた就職活動では厳しい労働市場で再就職先を見出すのは非常に困難です。例えば、履歴書の書き方にしても昔はB5版の履歴書でしたが現在はA4版が主流で、企業によってはB5版を送付すると評価に値するキャリアをお持ちの方でも書類選考で落とされるケースもあります。また中高年求職者はどうしても給与面にこだわり過ぎる傾向があります。それだと中々、早期就職が困難になりますので相談者が収入面での許容範囲を広げることにより就職の選択枠が広がります。スキルアップに関しましては職業訓練や基金訓練を受講され新たな知識の習得や資格習得をすることにより、今までのキャリアに縛られず新たな業種・職種に就職できる可能性も出てきますので奨励しています。事例としましては当センターに30代の女性求職者が相談に来られて、当初は今までの経験を活かせる業種・職種に対するこだわりが強く、早期の再就職を目指されていましたが、相談回数を重ねて一緒に方向性を模索していく過程で新たな目標を見出され、基金訓練を受講しながら不動産関連の国家資格習得を目指されました。その国家資格の習得に成功すれば未経験でも採用に至る可能性が大きくなります。

一般的に中高年求職者の方は就職活動に関する現代のビジネスルールを軽視または知らない傾向がありますので、積極的に専門的就労支援相談員の指導・助言を受けたり就労セミナーに参加して有効な就職活動のノウハウを学ばれるように助言をしています。





Q4、就労・生活にお困りの求職者へアドバイスをお願いします。

就労支援相談員に相談や悩み、不安を持ちかけることに関して、決して恥ずかしいと考えず気軽にご相談に来て頂きたいと思えます。特に中高年求職者の方は相談員の助言や指導を受けることに抵抗感を持つ傾向があると思えます。しかし、就職状況は厳しいので就職活動は必然的に長引く傾向があります。一人で悩み苦しみながらの就職活動よりも就労支援窓口を活用した方が効率的で早期就職に結びつくと考えています。昨今の就職活動では何十社も受けないと職を得るのが難しい状況です。その過程において、なかなか就職に結びつかずに落ち込み傷つくこともあるでしょう。それらの苦悩を共有し、相談者の方が常に前向きな気持ちで就職活動に臨めるようなサポートができればと思います。相談員に遠慮なく苦悩や悩みを打ち明けることにより、落ち込んだ気持ちも多少なりとも晴れることもあるでしょう。厳しい就職活動でも心のゆとりを持ち続け、給与の多い少ないに惑わされずに少しでも長く勤められる職場を探すのが結果的には得策だと思えます。

また最近の就労支援の現場で感じることは就職問題だけにとどまらず、日々の生活にも困窮している求職者の方が多いと感じています。やはり最低限の安定した生活環境を確保しなければ就職活動の足かせになりますので、場合によっては最低限の生活基盤を再構築した上で就職活動をされた方がよい相談者には生活保護受給のお薦めもします。その際は(社)愛媛県労働者福祉協議会内の「愛媛くらしの相談センター」の専門相談員とも連携し、迅速に対応させていただきますのでお気軽にご来所されご相談頂ければと存じます。

就労支援センターで対応している具体的な相談内容

離職の為、生活資金の融資を受けたい。
 就職するのにスキルアップしたい(訓練を受けたい)。
 面接で気を付けることや、履歴書・職務経歴書の作り方を知りたい。
 書類の送付のしかた、添え状の書き方など知りたい。
 自宅で「求人情報」を見るのはどうすればいいの。
 家にパソコンが無いので、会社情報が見れない。
 パソコンがないときは、職務経歴書を手書きするの。
 ジョブカードって何ですか。
 「愛work」って何をするとこる。
 介護の資格にはどんなものがあるのか、どの様にすれば取れるのか。
 P検ってどんな資格ですか。
 突然解雇されて納得いかない、相談窓口はありますか。
 フルタイムで働くと保育所のお迎えの時間に間に合わない。
 60歳になるんだけれど専門に相談する窓口はあるの。
 心が疲れて就職活動に力が入らない、何もする気になれない。
 シルバー人材センターで仕事の世話をしてくれるの。
 生活保護を受けたいが、どこに言えばいいの。
 失業で年金や健康保険が払えない、放っておくとどうなるの。
 フォークリフトの資格を取りたい。
 お金がもらえる基金訓練はだれでも受けられるの。



< 概 要 >

名 称：ジョブえひめ 就労支援センター（無料職業紹介所：許可番号 38-ム-300006）

場 所：松山市宮田町125 愛媛労福協会館 2階

連絡先： TEL：089-915-2401 FAX：089-947-5616 Eメール：e-job@lib.e-catv.ne.jp

ご利用時間： 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時迄 日曜日、祝日、年末年始は休みです。

愛媛県委託事業：(平成22年度 労働者の声発信事業)

発 行：社団法人 愛媛県労働者福祉協議会

〒790-0066 松山市宮田町125番地 愛媛県労福協会館 3階

TEL 089-946-2296 FAX 089-947-5616

メールアドレス e-roufuku@leo.e-catv.ne.jp